

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

製造者情報	会社	ホーザン株式会社		
	住所	大阪市浪速区幸町1-2-12		
	担当部門	企画チーム	担当者	中川 正哉
	電話番号	06-6562-0023	FAX番号	06-6567-3115
整理番号	03721	作成年月日	2008年 7月24日	
製品番号	H-721			
製品名	フラックス			

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

引火性液体	: 区分2
急性毒性	: 区分5
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分2A
生殖毒性	: 区分1
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	: 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	: 区分2
吸引性呼吸器有害性	: 区分2

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 引火性の高い液体及び蒸気 飲み込むと有害のおそれ(経口) 皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮) 吸入すると有害のおそれ(気体、蒸気及びミスト) 強い眼刺激 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 呼吸器への刺激のおそれ 長期又は反復暴露による肝臓、眼、呼吸器(吸入)の障害のおそれ 飲み込み、気道侵入すると有害のおそれ

#### 注意書き

- 安全対策 : ハンダ付け用途以外には使用しないこと。  
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
食事前、作業終了時には手洗いをすること。  
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。  
 ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと。  
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。  
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。  
 防爆型の電気機器、換気装置、照明器具を使用すること。  
 静電気放電や火花による引火を防止すること。  
 環境への放出を避けること。  
 容器を密閉しておくこと。

救急処置 : 火災の場合には適切な消火方法をとること。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当を受けること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断と手当を受けること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚（又は毛髪）に付着した場合、直ちに、すべての汚染された衣服を脱ぐこと、取除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

取扱った後、手を洗うこと。

暴露、又はその懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。

気分が悪い場合、医師の診断、手当を受けること。

漏出物は回収すること。

保管 : 容器を密閉して涼しく、換気の良いところで施錠して保管すること。

廃棄 : 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

最重要危険有害性 : 引火性、可燃性液体で、その蒸気は低所に滞留しやすい。

有害性 : 皮膚、粘膜を刺激する。蒸気を吸入すると粘膜刺激性、麻醉性がある。経皮侵入する。イソプロピルアルコールは、エタノールよりやや毒性は強い。

環境影響 : 知見なし

物理的及び化学的危険性 : イソプロピルアルコールは、引火しやすい液体で、その蒸気は空気との爆発性混合気体を形成しやすい。

分類の名称 : 引火性液体、その他の有害物質

### 3. 組成及び成分情報

単一製品／混合物の区分 : 混合物

成分	含有量 (W%)	PRTR政令番号	CAS No.
イソプロピルアルコール	78	該当せず	67-63-0
ロジン	21	該当せず	514-10-3
界面活性剤	0.8	該当せず	25322-68-3
アミン塩酸塩	0.2	該当せず	4998-76-9

---

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
- 目に入った場合 : 水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。目の刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当を受けること。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、炭酸ガス、乾燥砂等。大規模の火災には泡消火剤を使用し、空気を遮断する。
- 使ってはならない消火剤 : 水
- 消火方法 : 周辺火災の場合、火災に応じた消火剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。防災活動に関係のない人を風上に遠ざける。ロープを張るなどして火災場所への関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護 : 火災の際は、必ずマスク等の保護具を着用して消火活動を行う。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には必ず防護具を着用する。風下で作業をしない。
- 環境に対する注意事項 : 少量の場合はウエス、おがくず、乾燥砂等に吸収させて速やかに密閉容器に回収する。多量の場合は土砂などで盛り土をし、流出防止を図るとともに、出来るだけ速やかに空容器に回収する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 火花を発生しない安全なシャベルなどを使用するのが望ましい。
- 二次災害の防止策 : 風下の人を退避させる。漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。近くの着火源を取り除き、消火用機材を準備する。

#### 7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い : 取扱いは局所排気装置を設置した場所で行う。火気、静電気、衝撃火花などによる着火源などが生じないように注意する。また漏洩を防止する。接触、吸入を防止するために個人用保護具を使用する。直射日光を避け、高温物に近づけないようにし、使用にあたってはフラックスの温度は40℃以上に上がらないように注意する。
- 保管 : 屋内の危険物倉庫に保管し、風通しのよい冷暗所に密閉容器で保管する。保管場所には施錠する。火薬、酸化性物質、有機過酸化物との同一保管は禁止する。

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 : 400 ppm

管理濃度 : 200 ppm

設備対策 : 第二種有機溶剤の設備を設ける。又は局所排気装置を使用する。使用機器にはアースを設置する。

保護具 : 呼吸器の保護具 — 活性炭入り有機溶剤用マスク  
手の保護具 — 不浸透性ゴム手袋  
目の保護具 — ゴーグル型眼鏡、保護眼鏡  
皮膚及び身体の保護具 — 専用の耐溶剤性作業衣

## 9. 物理的及び化学的性質

外観 : 液状

色 : 黄褐色

臭い : 芳香臭

引火点 : 12℃

爆発範囲 : 2.02～7.99容量%

比重 : 0.840 (20℃)

溶解性 : 水溶性

自然発火温度 : 460℃

## 10. 安全性及び反応性

安定性 : 室温では安定

可燃性 : あり

発火性 : なし

自己反応性 : なし

避けるべき条件 : 40℃以上の温度に曝さないこと。これ以上の温度になると、溶剤蒸気の発散が激しくなり、危険度が増す。

## 11. 有害性情報

急性毒性 : イソプロピルアルコール (50%致死量を含む)  
経口ラット LD<sub>50</sub> 5840 mg/kg

皮膚腐食性 : なし

刺激性 (皮膚、眼) : 眼、鼻、咽喉に刺激性がある。

感作性 : イソプロピルアルコールに感作されて粘膜の炎症や湿疹様発疹が起こることが稀にある。

慢性毒性 : 長期又は繰り返しの接触により、肝臓、腎臓を侵す。

## 12. 環境影響情報

知見なし

---

### 1 3. 廃棄上の注意

各地方自治体の定める方法によること。

### 1 4. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れがないことを確かめ、転倒落下させないように積み込み、荷崩れ防止を完全に行う。

取扱い及び保管上の注意事項の記載及び、消防法第4類に関する一般的な注意事項により行う。

国連分類 クラス3（中引火点引火性液体 パッキンググループ2）

国連番号 1866（樹脂液）

### 1 5. 適用法令

消防法	危険物第4類引火性液体第1石油類（非水溶性）
労安法	施行令第18条名称等を表示すべき危険物及び有害物 施行令第18条の2名称等を通知すべき危険物及び有害物 施行令別表1の4引火性のもの 施行令別表6の2有機溶剤 有機則第二種有機溶剤
船舶安全法	危規則第3条危険物等級3引火性液体類
航空法	施行規則第194条告示別表第3引火性液体
港則法	施行規則第12条危険物
PRTR法	該当せず

製品中の含有量や使用・保管する総数などの諸条件、また法令の改正により、必ずしも適用されるものではありません。詳しくは各法令をご確認ください。

### 1 6. その他の情報

引用文献 : 13398の化学商品

化学工業日報社

記載内容は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、製品の適応性・安全性を保証するものではありません。

取扱いには十分注意してください。

このデータの使用による損失や損害について一切責任を負いません。

ご使用者の責任において安全対策を実施の上、取扱い願います。

---